

従来型およびコンテナ型 アプリケーション向けの 業界最高峰のソリューション

NutanixとRed Hatが手を組み、ハイブリッドマルチクラウド環境向け認定ソリューションでLinuxおよびKubernetesアプリケーション展開のシンプル化と加速を実現

企業は、ITとDevOpsチームがインフラストラクチャー関連のタスクに費やす時間を減らし、新しいアプリおよびサービスの提供により多くの時間を費やせるよう、仮想化およびクラウドネイティブなアプリケーションの展開を合理化する最善のソリューションを必要としています。仮想化およびKubernetes環境向けにベンダー認定ソリューションを活用するハイブリッドマルチクラウド戦略は、様々な摩擦を最小化、展開をスムーズに行くこと、運用をシンプル化されること、サービスとサポートが迅速かつ効率的であることを保証します。

この度、NutanixとRed Hatは戦略的パートナーシップを結ぶことで、従来型およびコンテナ型アプリケーションの構築、拡張、管理が可能となる強力なソリューションを提供できるようになりました。

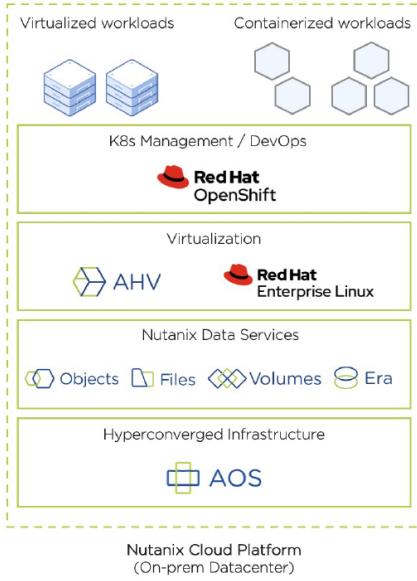
RED HATとNUTANIXが実現する、ハイブリッドマルチクラウドインフラストラクチャーのシンプル化とアプリケーション展開の加速

NutanixとRed Hatが力を合わせ、業界最高峰のハイブリッドマルチクラウドエクスペリエンスを提供できるようになりましたNutanix Cloud PlatformとRed Hatソフトウェアの組み合わせによって最適化されたソリューションは、両社の顧客にをもたらします：

- 業界最高峰のインフラストラクチャー。**Red Hat Enterprise LinuxとRed Hat OpenShift のNutanix AHVハイパーバイザに対する認定とNutanix Cloud Platform が仮想化およびクラウドネイティブアプリケーション向けにシンプルなフルスタックソリューションを提供します。
- シームレスなサポートエクスペリエンス。**テクニカルサポートが必要な場合、チームはRed HatとNutanixグローバルサポートチームのコラボレーションによる複合的な専門知識の恩恵を受けることができます。
- 将来を見据えた堅固な相互運用性。**Red HatとNutanixは、Nutanix上でRed Hat Enterprise LinuxとRed Hat OpenShiftを利用するユーザー向けに、顧客価値を高め続けることに注力しています。

「当社の技術パートナー2社による今回の戦略的パートナーシップの発表には、大いに心を踊らせています。今回の2社の関係は、私たちがハイブリッドクラウドの複雑さを管理していく中で、仮想マシンとコンテナベースのワークロード向けに新たなホスティングおよび展開の選択肢を広げるものだと感じています。こうした新しい選択肢は、顧客に新しいエクスペリエンスを提供するにあたって、迅速で効率的かつ滑らかな運用を実現するという目標を支えてくれます。」

– Ritch Houdek氏、Kohl's テクノロジーSVP



RED HAT ENTERPRISE LINUXとAHV

ITチームは、幅広いアプリケーションを運用する取り組みにの中でも様々な課題に直面します。必要なのは、あらゆる状況に対応できる、柔軟で安定的かつ拡張可能なインフラストラクチャーです。Red Hat Enterprise Linux (RHEL)をNutanix AHVによる仮想化と組み合わせて利用することで、両方のソリューションの完全な恩恵を手に入れ、インフラストラクチャーおよびアプリケーション管理を合理化しながら、必要なパフォーマンス、セキュリティ、回復力を提供できます。

世界最大手のエンタープライズLinuxプラットフォームであるRHELは、すべての環境にまたがる一貫した基盤を提供します。あらゆるアプリケーション向けに迅速なサービスとワークフローを提供できるツールが備わっているため、展開に伴う困難とコストを削減しながら、市場への展開を加速させ、重要なワークフロー向けセキュリティを確保できます。RHELであれば、開発チームと運用チームが優れたイノベーションに向けて協力しやすくなります。

Nutanix AHVは、運用を合理化するセキュアなエンタープライズグレードの仮想化ソリューションを提供できるほか、最も要件の厳しいアプリケーションに対してもNutanixクラウドインフラストラクチャー上で最適なアプリケーション性能を発揮できるよう最適化されています。AHVは、ストレージと仮想化の容易な管理を実現しながら、工場出荷時に適用されるセキュリティ、ネットワークマイクロセグメンテーション、そしてビルトインの構成監査および修復機構をチームに提供します。NutanixとAHVを利用することで、ほかの仮想化ソリューションよりも優れた総所有コスト(TCO)を実現できます。

RHELとAHVの組み合わせは、仮想化されたエンタープライズアプリケーション向けに、業界最高峰のインフラストラクチャースタックを提供しながら、シームレスなサポートエクスペリエンスを実現します。

RED HAT OPENSHIFTと NUTANIX クラウドプラットフォーム

Kubernetesは、迅速な拡張と回復力を擁する動的な分散型プラットフォームです。シンプルでセキュアな統合型ソリューションがなければ、Kubernetesのライフサイクル管理には大きな課題が伴います。Red Hat OpenShiftとNutanix クラウドプラットフォームの組み合わせは、Kubernetesの展開と継続的管理を簡素化する事で、少ない労力でより優れた成果を実現できます。この共同ソリューションによって、IT管理者は開発者のリソースの要求に遅れを取ることなく、革新的な最新のアプリケーションで組織の市場への投入までの時間を最適化できます。

Nutanix クラウドプラットフォームは、OpenShiftワークフロー向けに理想的なインフラストラクチャーを提供します。拡張可能で回復力があり、Kubernetesと分散型環境向けに構築されています。統合型AHVハイパーバイザー、Nutanixユニファイドストレージ、そして高度な自動化は、インフラストラクチャー環境を大幅に簡素化します。Nutanixは迅速かつ確実に展開できるため、開発者のニーズを満たしてアプリ開発を加速させる、直感的でパブリッククラウドのようなユーザーエクスペリエンスによって、運用簡素化の新基準を策定することが可能になります。

「私たちは、顧客に自由な選択肢と柔軟性を与える、オープンハイブリッドクラウドに向けたビジョンを抱えています。Nutanixと当社のパートナーシップは、業界トップのハイパーコンバージドソリューションをオープンハイブリッドクラウドにもたらします。こうして、双方の顧客は、コンテナ型ワークフロー展開の選択肢を広げ、共同のサポートエクスペリエンスを得ることができます。」

— Paul Cormier氏、Red Hat CEO



OpenShiftは、ハイブリッドマルチクラウド環境にまたがるクラウドネイティブアプリケーションの開発および展開用に構築されています。様々なアプリケーションの組み合わせに関して、開発、提供、ライフサイクル管理を加速させ、アプリケーションワークロードをオンプレミス、パブリッククラウド、またはエッジで実行するための一貫した基盤を提供できます。OpenShiftは、既存アプリのモダン化、新たなクラウドネイティブアプリの開発、そしてISV(独立系ソフトウェアベンダ)パートナーとクラウドプロバイダーからなる幅広いエコシステムのソフトウェア統合に役立ちます。

NutanixクラウドプラットフォームとRed Hat OpenShiftが組み合わさることで、DevOpsとコンテナ管理におけるクラス最高のフルスタックソリューションを提供できます。こうして、次のことが可能になります：

- 展開、管理、拡張がシンプル
- ビルトイン型のファイル、オブジェクト、およびブロックデータサービスならびにNutanixの全機能に対応したCSIを利用できる
- データベースを仮想マシンに展開([Nutanix データベースサービス](#)を使用)して、OpenShiftアプリケーションからの利用を容易に実現
- エンタープライズグレードのサポート付き
- アプリケーション開発および展開を加速

OpenShiftとNutanix クラウドプラットフォームの詳細に関しては、
[ソリューション概要全文](#)をお読みください。

はじめに

Red HatとNutanixがお客様の組織のハイブリッドマルチクラウドジャーニーを加速させ、仮想化およびコンテナ型アプリケーションの構築、拡張、管理を容易にできる方法については、nutanix.com/redhatまたはwww.redhat.com/ja/partners/nutanixをご覧ください。



Tel 03-4588-0520

info-jp@nutanix.com | www.nutanix.com/jp | [@nutanixjapan](https://twitter.com/nutanixjapan)

©2022 Nutanix, Inc. All rights reserved. Nutanix のロゴ、および本書に掲載されたあらゆる製品およびサービス名
米国およびその他の国においてNutanix, Inc.の登録商標または商標となります。本文書に記載された、他のブランド名は全て、
識別目的のみに使用されており、それぞれの所有者の商標となります。